



山ぼうし

— 友愛・協調・責任 —

山ぼうしは「立志の樹」といわれ正門脇の「山ぼうし小庭園」には『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』の碑(初代PTA会長の盛合聰氏揮毫)がある。

宮古工業高等学校 校報 第5号 2015. 7.17

段取り八分 (だんどりはちぶん)

校長 及川晃貴

生徒の皆さんが心待ちにしていた校内球技大会が2日間にわたって行われました。野球やサッカー、バドミントンなど6種目の競技が行われ、試合では各クラスの本気と本気がぶつかり合う迫力溢れる好ゲームが展開されました。

球技大会では、複数の競技を同時並行で実施します。そのため、試合のタイムテーブルづくりはとて重要な仕事です。たとえば、あるクラスの試合時間が重なったために、片方の試合が遅れたり実施できなくなったりする事態は避けなければなりません。また、クラスに人数差がある本校の場合、少人数のクラスが不利にならないルールづくりが求められるとともに、逆に人数が多いクラスでは全員を競技に出すための工夫も必要です。

はちぶん にぶ

「段取り八分に仕事二分」とは、精度の高い仕事を効率よく、かつ、安全に行うための心構えを示す言葉として、ものづくりの現場で用いられてきました。物事が成功するかどうかの8割は準備で決まるというものです。今回の球技大会を振り返ると、各競技ともスムーズに進行し、多くの生徒が満足感の中で大会を終えることができました。その大きな要因は、生徒会執行部がきっちりと段取り(準備)をして臨んだからであり、それに応えて役割を果たした放送委員、保健委員、審判たちがいたからです。もちろん、今回(球技大会)の仕事の仕上げは、生徒の皆さんの熱血プレーでしたね。

○校内球技大会で熱戦展開

6月25日(木)～26日(金)の2日間にわたって開催されました。雨の心配もありましたが、天候も味方をしてくれて、グラウンドや体育館で熱戦が繰り広げられました。

球技大会成績	1位	2位	3位
総合	M3	M2	F2
バドミントン	F3	M2	E3
バレーボール	F3	E3	M1
バスケット	M2	M3・F2	
卓球	M3	M2	E3
野球	M1	M3・E2・E3	
サッカー	M2	M3・F2	

選手宣誓



成績発表



PTA母親委員会 ドリンクサービス

熱中症予防に絶大な効果を発揮し、皆が競技に集中することができました。



生徒昇降口と第一体育館入口の2か所で実施

母親委員会の皆様！ありがとうございました。

○感謝!!「ハンギング・バスケット」

津軽石小学校3年生から本校へ

津軽石小学校3年生のお二人から、ベゴニア・センパフローレンスの寄せ植えを1カゴいただきました。大変ありがとうございました。

早速、正面玄関脇の柱に架けました。ピンクと白色の花が次々と咲き、見るたびにとても和やかな気持ちになります。



○演劇「チャージ」を鑑賞

6月23日（火）に宮古市民文化会館で芸術鑑賞会を開催しました。今回は劇団銅鑼の皆さんによる演劇「チャージ」（田口萌作、西川信廣演出）を鑑賞しました。

この「チャージ」は、働くことの素晴らしさを感じることができるストーリーとなっており、人をだまして儲けるより、厳しい毎日であってもコツコツと働いて人に感謝されながら過ごすほうが本当の人生であることに気づかされるというものでした。

なお、会場の宮古市民文化会館は、昨年12月末の復旧・再オープンから半年が経過し、いっそう地域の文化活動の拠点となっています。



劇団銅鑼の皆さん

○第1回学校評議員会の報告

6月24日（水）に本年度の第1回学校評議員会を開催しました。

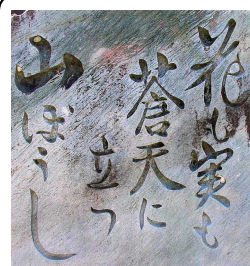
本校では、地元の企業や施設、近隣中学校に勤務される5名の方を学校評議員に委嘱し、授業参観や行事見学などもしていただきながら、本校に対する意見や感想、将来に向けた提言などをいただいております。

＜主な意見＞

- ・授業を参観したが、階段の汚れや教室の机の傷もなかった。挨拶もよくいい雰囲気醸し出している。
- ・全国レベルで活躍している内容をもっと地域に知らせていく取組が必要である。
- ・高校時代だけでなく、就職後も資格取得に前向きに取り組む姿勢を育てて送り出してほしい。
- ・専門分野の指導は基本も大切だが、基本を超えた先端の仕組みに着眼した内容も必要である。
- ・インターシップ等の受け入れを行っているが、参加生徒の意識が薄いように思う。
- ・これまで手仕事でやっていたことが、今は数値化して機械がやる時代となった。煩雑化した情報の中から自分に必要なものを選択する力を育てることが必要である。
- ・スポーツで汗を流すなどしながら、夢・感動を求め、成果が得られるよう導いてほしい。
- ・日頃から地域貢献に取り組んでおり継続してほしい。社会にできるために必要な取組である。
- ・何にでも挑戦でき、目標に向かって取り組める人を育ててほしい。
- ・企業が海外に移転し、ものづくりの空洞化が起きていたが日本に戻りつつある。宮古の金型・コネクタ産業を支える人材育成が必要である。
- ・英語力は重要である。グローバル社会であり、宮古の会社でも外国人と話す機会が多い。
- ・建築設備を学んだ生徒は、東京で大規模な仕事を経験してから宮古に戻って活躍してほしい。

本校ではこれらの意見を踏まえて教育活動を実践し、2月の第2回学校評議員会において学校評価を実施する予定です。

なお、学校評議員会の報告は、学校評価結果とともに、後ほど学校ホームページに掲載します。



編集後記

ここ数日、30℃をはるかに超える日が続きました。こまめな水分補給で熱中症を防ぎましょう。「のどが渴いた」と感じる前に補給することが理想的だそうです。（及川）